

| | | | |
|-------|-------------------------------------|---------|--|
| 会 長 | 中原 亘 | 所在地 | 鳥取市気高町下坂本 48-4 |
| 事務局長 | 堀尾 久 | TEL/FAX | 0857-82-2206 / 0857-82-2262 |
| 設立年月日 | 平成 20 年 12 月 20 日 | Mail | cc-mizuho@it.city.tottori.tottori.jp |
| 世 帯 数 | 452 世帯 | HP | http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/mizuho-1 |
| 組織構成 | 総務環境部会、健康福祉部会、地域文化部会、体育振興部会、公民館事業部会 | | |

地域コミュニティ計画 『瑞穂まちづくり計画』

- 策定期間 平成 22 年 4 月 24 日（令和 5 年 4 月 1 日 第 2 期計画 改訂）
- 支援宣言 平成 22 年 7 月 15 日
- 目 標

| | |
|-----------------------|----------------------------|
| 1 環境保護と安心安全に暮らせるまちづくり | 2 ふれあい支えあい思いやりのあるまちづくり |
| 3 個性と協調性が活きるまちづくり | 4 健やかで活気あふれるまちづくり |
| 5 集いあい、学びあい、つながるまちづくり | 6 何でも話し合え、実現に向けて取り組めるまちづくり |

◆ 地域の課題

瑞穂地区では、公民館に隣接する小学校の統廃合が決まっています。地域に学校がなくなることで地域と子どもたちの関係、またその保護者との繋がりも希薄になり、地域コミュニティの衰退が懸念されます。このことを地域の重要課題と考え、小学生だけではなく、中学生の活躍できる場を作り、地域の子どもたちを巻き込んだ取り組みが必要と考えます。そのためには、学校との連携が不可欠です。また、幅広い世代からアイデアを聞きながら、廃校になった施設の利活用について今から考え、地域を盛り上げていく必要があります。

◆ 主な活動内容

① 個性と協調性が活きるまちづくり事業

・次世代への伝統文化・行事の継承：気高町で開催される貝殻節祭りの総踊りに、子どもから大人まで協議会連として毎年参加しており、令和 6 年度は優勝することができました。これにより、鳥取県立美術館開館記念イベントの祝賀パレードに参加し、倉吉銀座商店街通りを行進しながら踊りました。観衆からは拍手がおこり、気高町の貝殻節を県内外の人に披露できたことを誇らしく感じ、また、子ども、大人ともに、みんなで力を合わせて成し遂げることの素晴らしさを肌で感じるすることができました。

② 健やかで活気あふれるまちづくり事業

・運動の推進：地区運動会をはじめ、関係団体と連携し、春季・夏季・秋季・冬季とスポーツ大会を行っています。各年代のライフスタイルや体力に合ったスポーツを行うことで、幅広い世代に参加してもらい、また、世代間や地域間の交流になっています。また運動会では、多くの中学生にスタッフとして参加してもらうことで、地域とつながる楽しさを知り、与えられた仕事を達成することで自信が付き、青少年育成につながっています。

③ 集いあい、学びあい、つながるまちづくり事業

・青少年育成につなげる地域・家庭づくりの推進：子どもの事業に数多く取り組んでいます。特に「通学合宿事業」では、公民館を宿泊場所とし、地域ボランティアの協力を得ながら 2 泊 3 日、公民館から隣接する小学校へ登校します。子どもたちは、集団生活の中でルールを守ることの大切さ、相手への思いやりを育み、自分たちで協力して解決する力を共同生活の中で身につけます。また、大人の協力者は、子どもたちの成長に役立っているという役目を知ることで生きる力になっています。

◆ 今後の計画

これまで配食サービスを行っていた他団体が、スタッフの高齢化等により活動を休止されます。高齢者の見守り活動、小学校の総合学習と連携した事業であることから、事業の継続が必要と考え、配食サービスをまちづくり協議会が引き継ぎます。資金面、人員面でも課題はあるが、地域の協力をいただきながら行っていきたいと考えます。